

日本写真測量学会 令和6年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：令和6年11月14日(木) 10時00分～16時25分 学術講演会 参加費：正会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円（会員・非会員共）（いずれも論文集代含む／消費税込）
16時35分～17時35分 特別セッション「写真測量学会とDX ―学会の財政と学会誌を例に」
17時45分～18時45分 特別講演「四国地方における人口減少から考える諸問題：廃村・資源管理」 渡邊 敬逸 准教授（愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科）
19時00分～21時00分 懇親会 会場： ホテルマイステイズ松山「ドゥエミーラ」 参加費：一般5,000円／学生4,000円（消費税込）
11月15日(金) 9時30分～19時15分 学術講演会
11月16日(土) 巡検
巡検コース：松山市駅前出発(8:45)→松山城→〈昼食〉→マイントピア別子・東平（とうなる）銅山産業遺産群「東洋のマチュピチュ」見学→松山空港（16:00頃解散予定）
巡検参加費：5,000円（バス代、昼食、入場料込／消費税込）

開催場所：愛媛県松山市「松山市男女共同参画推進センター」 〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20

第1日目 11月14日(木)

10:00 - 10:10

開会のあいさつ

会長 清水 英範

第1会場（5階・大会議室）		
セッションA	災害・防災	司会：関山 絢子（東京農業大学）
10:20 - 10:40	A-1 太陽光発電所データベース作成のための土地被覆分類とデータ抽出 ○竹下 真帆・全 炳徳(長崎大学)	
10:40 - 11:00	A-2 異なる撮影間隔のALOS-2データを用いた千葉県の地盤変位速度の評価 ○渡邊 淳太・野中 崇志・朝香 智仁(日本大学)	
11:00 - 11:20	A-3 衛星データを用いたバキスタン洪水の水域遷移解析 ○岡本 勝男・青木 穂高・岩田 恭志(国土防災技術)・その他4名	
11:20 - 11:40	A-4 鉄道橋梁支承部におけるUAV写真点群測量の活用に関する一考察 ○下川 光治・長尾 隆伸(アジア航測)・一條 健吾(西日本旅客鉄道)・その他4名	
11:40 - 12:00	A-5 ALOS-2 アーカイブデータを用いた事業化実証 ○祖父江 真一・栃木 佑太(JAXA)・辻野 和彦（福井工業高等専門学校）	
12:00 - 12:20	A-6 光学センサと合成開口レーダを統合した水はけ状況把握 ○森山 雅雄・皆川 昇(長崎大学)	

12:20 - 13:05

昼食

13:05 - 14:15	ペンダーフォーラム	司会：中西 芳彦（国際航業）
1. ファロージャパン（株）「3Dモバイルスキャナー（SLAM）による点群測量」 2. SBG Systems S.A.S「SBG Systemsの写真測量向けソリューション」 3. アジア航測（株）「AIによる点群認識技術と3D市モデル構築を強化する新たな技術のご紹介」 4. （株）パスコ「広がる衛星データ活用」 5. 朝日航洋（株）「港湾施設（棧橋）点検の手法および筏型プラットフォーム「RaftCam」のご紹介」	6. リーグルジャパン（株）「RIEGL レーザースキャナー 2025新製品情報」 7. 日本スペースイメーシング（株）「宇宙からのインテリジェンス ～進化する衛星技術とその可能性～」 8. 国際航業（株）「国際航業の3D都市モデルサービスのご紹介」 9. （株）カリダスジャパン「販売製品のご紹介（新スラムスキャナ、オブリークカメラ、ドローンレーザ他）」 10. （一財）リモート・センシング技術センター「タイトル未定」	

14:15 - 14:25

休憩

セッションB	点群処理/3次元モデリング	司会：蘇 妹（朝日航洋）
14:25 - 14:45	B-1 オブジェクト指向画像分類を用いた地上型レーザスキャナの点群の分類 ○前田 直哉・松岡 真如(三重大学)	
14:45 - 15:05	B-2 3次元道路台帳附図における道路施設データの連携に最適な3次元モデルの仕様検討 ○都築 萌香・森 義孝・川本 悠暉(国際航業)・その他4名	
15:05 - 15:25	B-3 疑似MMS点群からの区画線抽出性能評価 ○後藤 悠也・本間 亮平(アジア航測)	
15:25 - 15:45	B-4 RANSACを用いた地下埋設管の自動3次元モデリング ○高橋 元気・王 姪（国際航業）	
15:45 - 16:05	B-5 高精度航空レーザ測量を活用した三次元数値図化の事例 ○高橋 弘・木澤 恵一・野々山 善行(中日本航空)	
16:05 - 16:25	B-6 iPhoneの画像とLiDARを用いた地下埋設物の簡易計測手法に関する検討 ○王 姪・高橋 元気・小出 和政(国際航業)	

16:25 - 16:35

休憩

16:35 - 17:35	特別セッション	司会：布施 孝志（東京大学）
テーマ：「写真測量学会とDX ―学会の財政と学会誌を例に」 プログラム ・本特別セッションの趣旨（布施 孝志／東京大学） ・学会の財政状況と学会誌電子化の効果(今井 靖晃／国際航業) ・学会誌の現状と電子化によるサービス向上（織田 和夫／アジア航測） ・会場とのディスカッション		

17:35 - 17:45

休憩

17:45 - 18:45	特別講演	司会：中川 雅史（芝浦工業大学）
題目：「四国地方における人口減少から考える諸問題：廃村・資源管理」 講師：渡邊 敬逸 准教授（愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科）		

18:45 - 19:00

移動

19:00 - 21:00

懇親会 会場：ホテルマイステイズ松山「ドゥエミーラ」

第1会場（5階・大会議室）			
セッションE	写真測量・画像計測	司会：神野 有生（山口大学）	
9:30 - 9:50	E-1	UAVの姿勢とネットワークRTK-GNSSとの関係調査 ○小柳 敦史・全 炳徳(長崎大学)	
9:50 - 10:10	E-2	道路面上の影の有無を考慮した三次元点群データからの有効道路幅員推定 ○鎌苅 章太郎・久保田 誠也(摂南大学)	
10:10 - 10:30	E-3	MHJSBによる航空写真からの物体輪郭抽出 ○齊藤 明王(朝日航洋)・石川 晴也・青木 義満(慶応義塾大学)	
10:30 - 10:50	E-4	TLS及びUAVを用いた3次元測量における造園空間への応用に関する研究 ○菅井 一樹・山崎 雅治・國井 洋一(東京農業大学)	
10:50 - 11:10	E-5	緑被判読における高解像度トゥルーオルソの有効性の検証 ○四宮 結実・浦島 なぎさ・岡部 隆宏(パスコ)・その他4名	
11:10 - 11:30	E-6	PleiadesNeoバンクロスステレオ画像による標定精度検証 ○杉田 明弘・本島 千帆・寶楽 裕(パスコ)・その他1名	

11:30 - 12:15

セッションF	測位・PLATEAU	司会：中野 一也（金沢工業大学）	
12:15 - 12:35	F-1	森林部におけるCLASのFloat解の有用性に関する研究 ○高橋 秀昌・佐田 達典(日本大学)	
12:35 - 12:55	F-2	CLASとVRSIにおける再初期化後の測位解の時間変化の比較 ○飯塚 洸貴・志村 悠斗・佐田 達典(日本大学)	
12:55 - 13:15	F-3	L0D2道路モデル自動作成ツールの開発 ○筒井 駿吾・小森 惇也・于 忠策(アジア航測)・その他1名	
13:15 - 13:35	F-4	L0D2建物モデル自動生成のためのWireframe抽出手法に関する精度評価 ○李 勇鶴・坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ)	
13:35 - 13:55	F-5	スマートフォンに装着したGNSS受信機によるネットワーク型RTK測位の精度評価 ○佐田 達典(日本大学)	
13:55 - 14:15	F-6	RTKオブションによるSLAMの精度評価 ○田嶋 誠司・大谷 仁志(コバコン)	

14:15 - 14:25

セッションG	レーザ計測	司会：本間 亮平（アジア航測）	
14:25 - 14:45	G-1	位相差方式レーザスキャナにより観測された道路標識の距離測定誤差の推定 ○福士 沙織・高橋 洋二(朝日航洋)	
14:45 - 15:05	G-2	MMSの路面点群データにおけるノイズ除去法を用いた路面抽出方法の提案 ○酒井 奏岳（日本大学）・室井 和弘・本郷 恵莉（朝日航洋）・その他2名	
15:05 - 15:25	G-3	MLS計測点群の反射強度を利用した建物付属設備自動検出 ○小林 亜里紗(日本大学)・溝口 知広(山口東京理科大学)	
15:25 - 15:45	G-4	MMSを活用した街区境界調査の精度検証 青柳 広基・○桑原 晴香・山崎 廣二(アジア航測)・その他2名	
15:45 - 16:05	G-5	地上型レーザスキャナによる点群の基礎的な判読性に関する検討 ○中野 一也(金沢工業大学)	
16:05 - 16:25	G-6	非反復走査型LiDARデータ処理向けの動的点群生成 ○中川 雅史・重藤 李佳子・長坂 新(芝浦工業大学)・その他1名	

16:25 - 16:35

セッションH	植生	司会：遠藤 貴宏（RESTEC）	
16:35 - 16:55	H-1	UAV LiDARを用いた傾斜地テラスにおけるパームオイル再植栽地点の自動作成プログラムの開発 ○内藤 千尋・竹内 渉(東京大学)・Sim Choon Cheak(SD Guthrie)・その他1名	
16:55 - 17:15	H-2	樹冠内影モデリングのための基礎研究 ○藤原 匠(防衛大学校)・高木 方隆(高知工科大学)・森山 雅雄(長崎大学)	
17:15 - 17:35	H-3	レーザ計測を基にした3D樹木モデルの市場化に向けた試行錯誤 ○熊崎 理仁(ホロラボ)	
17:35 - 17:55	H-4	空中写真判読と航空レーザデータ解析に基づく苗場山山頂湿原の景観生態学的研究 ○小荒井 衛・手塚 瀬恋・阿部 聖(茨城大学)	
17:55 - 18:15	H-5	UAV多方向輝度分析を用いた単木単位での植物観測精度の検証 ○村井 亮介・高木 方隆(高知工科大学)	
18:15 - 18:35	H-6	ISS 搭載ライダー実証（MOLI）の開発 ○三橋 怜(JAXA)・澤田 義人(千葉大学)・境澤 大亮(JAXA)・その他2名	
18:35 - 18:55	H-7	深層学習フレームワークを用いた微分可能MOLI波形シミュレータの開発 ○澤田 義人(千葉大/JAXA)・三橋 怜(JAXA)・加藤 颯(千葉大学)	

18:55 - 19:15

閉会式（表彰式 / 閉会のあいさつ 副会長 赤松 幸生）

第2会場（4階・視聴覚室）			
セッションI	河川・海洋	司会：間野 耕司（パスコ）	
9:30 - 9:50	I-1	航空レーザ測深機材の計測効率化に関する検証 ○岩崎 真之将・今井 志彦・迫田 航(アジア航測)・その他3名	
9:50 - 10:10	I-2	グリーン波長のレーザ光を用いた航空レーザー計測による水部の汚濁の広域直接計測実現可能性の検討 ○下川 舜・頃安 隆耀・杉本 賢汰(金沢工業大学)・その他1名	
10:10 - 10:30	I-3	航空レーザ測深機（HawkEye-5）の性能検証 ○川邊 多一郎・今井 志彦・阿曾沼 和義(アジア航測)	
10:30 - 10:50	I-4	航空レーザ測深の河川管理業務に対する様々な利活用事例の紹介（物部川） ○上原 恵美・大村 恵英・林 幸裕(国際航業)・その他1名	
10:50 - 11:10	I-5	河川点群データを用いた流量観測 ○笹岡 南斗・高木 方隆・村井 亮介(高知工科大学)	
11:10 - 11:30	I-6	栈橋下部の狭隘空間における点検用撮影装置と撮影手法の開発および検討 河端 智樹・山本 遼平・○鈴木 孝洋（朝日航洋）・その他2名	

昼食

セッションJ	地理情報システム	司会：高橋 元気（国際航業）	
12:15 - 12:35	J-1	『日本風景論』における「名山」の統計的形状解析 ○嶋野 洸志・布施 孝志(東京大学)	
12:35 - 12:55	J-2	複数の時期を対象とした局所人口の空間的な分布特性の分析 ○卯田 航平・熊谷 樹一郎(摂南大学)	
12:55 - 13:15	J-3	地球儀ベースのGISソフトウェアにおけるBIM/CIMモデル利用の留意点 ○酒井 友也・間野 耕司・石塚 淑大(パスコ)	
13:15 - 13:35	J-4	空き家現地調査支援を目的とした空撮画像の適用性の検証 ○南 宇純・熊谷 樹一郎(摂南大学)・畑尾 一貴(HawksMap)	
13:35 - 13:55	J-5	ロケーションベースAR技術を用いた地点探索の効率化検証 ○佐藤 祐弥・本間 亮平(アジア航測)	
13:55 - 14:15	J-6	道路台帳における新たな測量方法及び更新手法 ○小柏 景司・樋口 陽子・大貫 加奈(アジア航測)・その他1名	

休憩

セッションK	AI・深層学習	司会：李 勇鶴（パスコ）	
14:25 - 14:45	K-1	AIによる車載型レーザ計測点群の自動分類 ○小森 惇也・佐藤 晃・筒井 駿吾(アジア航測)・その他2名	
14:45 - 15:05	K-2	深層学習による空中写真の障害検出 ○諸 治謙・服部 聡子・上野山 明良(アジア航測)	
15:05 - 15:25	K-3	衛星画像及びAIを用いた変化抽出手法の検討 ○桑村 亜実・長野 玄・野口 真弓(国土地理院)	
15:25 - 15:45	K-4	歩行者の相互関係に着目した深層学習に基づく経路予測 ○邱 文心・布施 孝志(東京大学)	
15:45 - 16:05	K-5	航空レーザ点群データからAIを用いた自動建築物外形抽出 ○若林 和音(朝日航洋)・中村 聡一郎・青木 義満(慶応義塾大学)	
16:05 - 16:25	K-6	超解像技術を用いた衛星画像からの地物抽出 ○屋敷村 祝彦(朝日航洋)	

休憩

セッションL	システム開発	司会：高橋 洋二（朝日航洋）	
16:35 - 16:55	L-1	航空機の不時着候補地選定における地理空間情報の活用 ○高橋 洋二・新井 啓吾・鈴木 英夫(朝日航洋)・その他1名	
16:55 - 17:15	L-2	地上設置型合成開口レーダを用いた準リアルタイム斜面変位計測 ○泉 佑太(室蘭工業大学)・佐藤 源之(東北大学)・Fathin Nurzaman(室蘭工業大学)・その他2名	
17:15 - 17:35	L-3	CCTVカメラを用いた火山噴火位置推定の試み ○森 貴章・佐々木 寿・田中 利昌(アジア航測)・その他7名	
17:35 - 17:55	L-4	ARの高精度位置決め方法の検討 ○森 直樹・高橋 智子(MHIパワーエンジニアリング)・田高 義(東杜シーテック)・その他1名	
17:55 - 18:15	L-5	SfMの簡易診断プログラムcheckSfMの開発について ○神野 有生(山口大学)	
18:15 - 18:35	L-6	Sentinel 1を用いた能登半島地震における倒壊建物の分類とガレキ撤去の時系列変動解析 ○竹内 渉・Yu Yang・Khin Myat Kyaw(東京大学)	